



ロングマット水耕苗で育苗と田植えが ら~くらく!

【1 成果の概要】

ロングマットは、慣行土付き苗 10 枚分の長さ (6 m) の苗を水耕で育てるもので、土を使わないため軽く、苗の運搬や田植えが楽にできます。

苗の運搬や苗補給の時間が短縮されるため、育苗・移植の作業時間は慣行の約半分と大幅に少なくなります。

専用の育苗装置が必要になりますが、培土や育苗器が不要なため、育苗経費が安くなります。

【2 安くて楽になります】

1 土を使わないため、苗の重さが慣行の約 6 分の 1 と軽くなり、苗の移動や運搬が非常に楽になります。

2 1 日分の移植苗の運搬が 1 回でできることや、6 条田植機の場合は 1 回の苗補給で約 30 a の田植えができることから、苗運搬・移植が 1 人でできます。

3 育苗や移植時の苗運搬などが大幅に軽減されることから、育苗・移植の 10 a あたり作業時間が 2.2 時間となり、慣行の約半分となります。

4 育苗装置などの施設費は増加しますが、育苗箱や育苗培土が不要になるため、10a あたりの育苗経費が慣行より約 2,500 円安くなります。

5 育苗と移植の省力化により、時間当たり所得が増加します。



写真1 ロングマット水耕苗の育苗風景

【3 留意してください】

1 ロングマット苗の移植には、慣行の田植機に、苗ホルダなどの部品の装着が必要です。

2 ロングマットの育苗方式は、慣行と異なりますので、育苗方法・移植方法など詳しいことについては、お問い合わせ下さい。

【4 導入コスト】

1 育苗ベッドは、10a 分で約 3 万 5 千円です (年間 2 回育苗)。

2 苗ホルダなどの田植機用部品は、6 条田植機用で約 13 万円です。



写真2 ロングマット水耕苗の移植